

平成 31 年度スポーツ振興課の主な事業と予算概要

○スポーツ活動の推進事業

1 目的

スポーツへの関心を高め、振興を図るため、全国大会や国際大会で活躍できる人材の育成を支援する。また、スポーツを通じて多様な交流を促進し、地域の活性化を図る。

2 事業内容

スポーツ指導者スキルアップ事業（新規）

1,966千円

県内アスリートの競技力向上及び安心・安全なスポーツ活動推進のため、スポーツ指導者を対象に研修会を実施し、資質の向上を図る。

- ・スキルアップ研修会の実施

～3.11の思いを未来につなぐ～少年サッカー交流事業（新規）3,005千円

東日本大震災により福島県から多くの方が避難していた旧騎西高校（（仮称）SFAフットボールセンター）において、本県と福島県との少年サッカー交流事業を実施する。

- ・少年サッカーチームの交流試合
- ・地元小学生等との交流
- ・埼玉県内の見学

オリンピック出場が期待されるアスリート等への支援

61,570千円

国民体育大会などで埼玉県代表として活躍しているアスリート等を支援し、競技力向上を図る。

① オリンピック出場が期待されるアスリートへの支援

- ・強化指定選手（60名）に対し、海外・国内遠征費等一人当たり40万円を助成
- ・スポーツ系大学等と連携した、身体能力測定・分析の実施
- ・専門スタッフによるトレーニングメニュー等の作成・助言

② その他のアスリートへの支援

- ・ジュニア期（小学校4～6年生）のアスリートの発掘・育成
- ・アスリートが競技活動に専念できる生活環境を整える就職支援

3 予算額 66,541千円

○スポーツ医・科学拠点施設、 屋内50メートル水泳場の設置検討事業

1 目的

アスリートの競技力向上や県民の充実したスポーツライフを推進する拠点として、スポーツ医・科学拠点施設及び屋内水泳場の整備に向けた検討を行う。

(1) スポーツ医・科学拠点施設

スポーツ医・科学の知見を活用し、アスリートの育成・支援を行うとともに、県民の充実したスポーツライフを支援することでより豊かな県民生活の実現に寄与する。

(2) 屋内50メートル水泳場

最先端の技術で水泳選手の競技力向上を推進するとともに、県民の体力・健康づくりをサポートする。国内主要大会の誘致が可能となり、水泳競技、スポーツの活性化に寄与する。

2 事業内容

実施計画の策定、事業手法の調査・検討

27,832千円

① 実施計画の策定

<内容>

- ・施設規模・機能の検討
- ・測定機器やトレーニング機器などの詳細検討
- ・周辺施設と連携した立地・配置検討
- ・設備・備品等を含めた事業費の算出

② 事業手法の調査・検討

<内容>

- ・民間事業者サウンディング調査
- ・収益・賑わい、事業費削減方策の検討
- ・民間活力を生かす事業手法や事業範囲の検討

3 予算額 27,832千円